

## 2022年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	小田急電鉄
期間中の総整備費	20,125 百万円
期間中の総徴収額	15,081 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	11 駅	32 番線	11 駅	32 番線	100 %
エレベーター	駅	基	駅	基	%
エスカレーター	駅	基	駅	基	%
スロープ	駅	ヶ所	駅	ヶ所	%
内方線付点状ブロック	駅	番線	駅	番線	%
段差隙間縮小に資する設備	16 駅	45 番線	16 駅	45 番線	100 %
バリアフリートイレ	駅	ヶ所	駅	ヶ所	%
車両のフリースペース	編成	両	編成	両	%
その他		駅		駅	%
備考					

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	32 番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

## 2022年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	11 駅	32 番線	14,930 百万円※ 1
エレベーター	駅	基	百万円
エスカレーター	駅	基	百万円
スロープ	駅	ヶ所	百万円
内方線付点状ブロック	駅	番線	百万円
段差隙間縮小	16 駅	45 番線	百万円※ 2
バリアフリートイレ	駅	ヶ所	百万円
車両のフリースペース	編成	両	百万円
その他		駅	百万円
備考	※ 1 当該期間に発生した供用開始前駅の整備費用を含む ※ 2 段差隙間縮小に関する費用はホームドア整備費に含む		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	各 駅	番線	426 百万円※ 3
エレベーター	4 駅	8 基	308 百万円
エスカレーター	2 駅	3 基	133 百万円
バリアフリートイレ	駅	ヶ所	百万円
車両	編成	両	百万円
その他	各	駅	1,171 百万円※ 4
備考	※ 3 既存駅tQR制御化費用、OTC連携費用、ホームドアカメラ設置費用 ※ 4 運行情報提供設備更新費、誘導タイル改修費、視覚表示設備改修、 行先表示装置更新費、通信連絡設備更新費		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費		2,946 百万円※ 5	
収受システム改修費		32 百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		179 百万円※ 6	
備考	※ 5 ホームドア、エレベーター、エスカレーター、運行情報提供設備のメンテナンス費 ※ 6 駅務機器改修費、駅頭表示改修費		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。